

29 北木石採石場（鶴田石材株式会社採石場）

写真



解説

岡山県を代表するブランド石材のひとつである北木石は、その石質に加え海運の便利さもあり、かつては北木島内の各所で採石が行われていたが、現在は2社のみが採取を行なっている。白亜紀後期に形成された優白色粗粒花崗岩であるが、地表付近ではやや赤みがかかった正長石（カリ長石）が見られたり鉄分によるサビがでていることもあるが、各種の用途にこれらの石も多用されている。墓石材としての利用も多く深いところのものほど変色しにくいいため、鶴田石材の採石場では深さ方向への開発が進み、現在は海面下約50mの所で採石が行われている（令和2年7月現在）。

提供者 氏名 能美 洋介 所属 岡山理科大学